

# たかまつ FLAT Meeting ニュースレター2

## 01 開催概要

高松市では、新しい総合計画の策定にあたって、次代を担う若い世代のみなさんの考えや価値観を共有し、8年後の高松市の姿を描いていただく機会として「たかまつ FLAT Meeting」を開催しました。内容についてご紹介します。

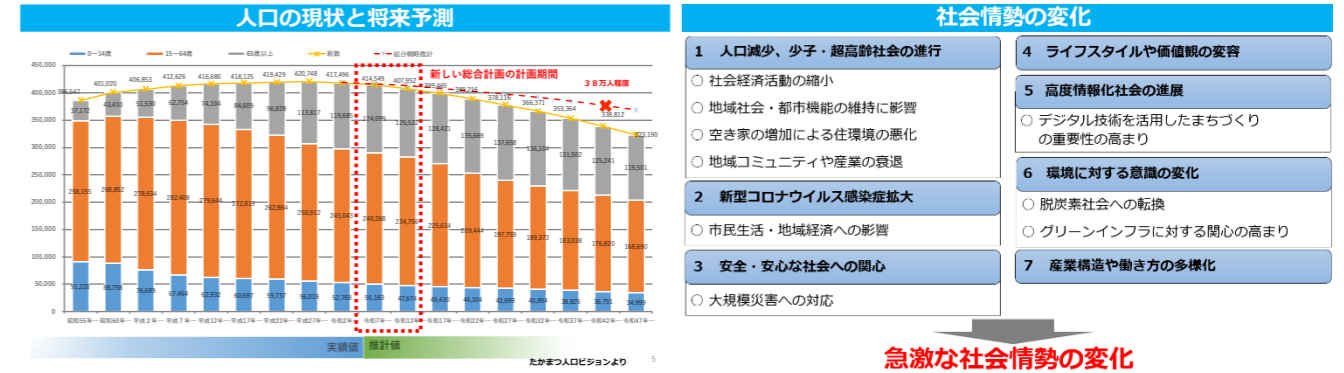


日時：2022年8月30日(水)  
18:30~20:00  
会場：オンライン会議  
参加者数：25名  
(大学生17名、社会人8名)

## 02 計画策定の考え方の紹介

高松市の未来の姿を考えるきっかけとするため、計画策定の基本的な考え方として計画/まちづくりの基本的な考え方を紹介しました。高松市で人口の現状と将来予測、社会情勢の変化ふまえたうえで、計画策定の基本的な考え方を紹介しました。

▼下記はその一例です。



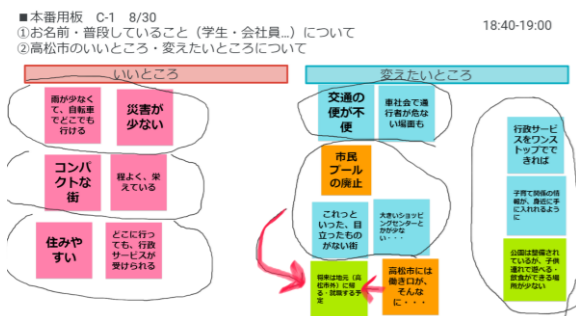
## 03 未来の高松市の姿についてディスカッション

### ① 全班共通テーマ

#### 「高松市のいいところ・変えたいところ」

全体説明のあと、班ごとにミーティングを行いました。まず、全班共通テーマ「高松市のいいところ・変えたいところ」を話し合いました。「いいところ」では、「駅も空港も近くコンパクトな街、買い物に不自由ない」「天候が安定、過ごしやすい」、「都市部は発展、郊外は緑が多い、メリハリがある」、といった意見が出ました。「変えたいところ」としては「交通マナーに課題あり(車も歩行者も)」、「水不足になりやすい」といった意見が出ました。

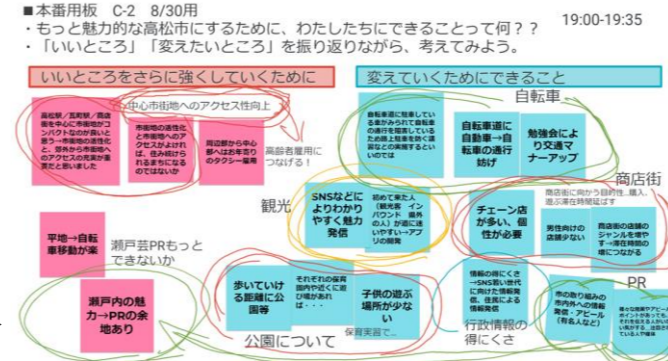
#### ▼ 全体共通テーマの議論内容(例)



### ② 各班テーマの議論

全班テーマのあとは、班ごとに異なるテーマで話し合いました。A-C班のいずれの班においても分野の偏りなく自由な発想とアイデアを話し合いがなされました。IT技術をテーマにしていたD班では、テーマに特化した具体的なアイデアの提案が多く出されました。各班テーマと議論の中で出された意見については以下の通りです。

各班テーマについてのボード(C班) ▶



各班テーマ	
<b>A班</b>	10年後も住み続けたい高松市にするために必要なことって何? ①皆の10年後を想像してみよう ②住み続けるために望むことは何?
<b>B班</b>	人が集まり住み続けたいまちって、どんなまち? 写真をヒントに、考えてみよう。
<b>C班</b>	もっと魅力的な高松市にするためにわたしたちにできることって何? 全班共通テーマ「いいところ」「変えたいところ」を振り返りながら、考えてみよう。
<b>D班</b>	IT技術を使って高松市のこんなところをもっとよくできるのでは?

## 04 参加者が感じたこと

参加した皆さんからは、「様々な立場の方々の意見が聞いて良かった」、「普段関わることのできない人と交流し、意見交換ができた」などの感想がありました。

(以下は一部抜粋)

- ✓ 話しやすいテーマで考えやすかった。
- ✓ 丁度よい時間配分でだらけることなく議論できた。
- ✓ とともに考えることで一人では出ないような考えにまで至ることができた。
- ✓ 仕事をしていて関わらない年代の方たちを「高松市」のことで意見交換できた。
- ✓ 事務局の方がファシリテーターをしてくださっていたので意見を述べやすい環境ではあったが、全体の発言は少なかった。ふらっと参加しやすい時間設定ではあったが、せっかくの機会に薄い部分のみの話をして終わるのはもったいないと思った。もう少しテーマを小さく設定して話し合ってもよいのではないかと思った。
- ✓ 今回は大学のプロジェクト内での案内から軽い気持ちで参加してみたのですが、思った以上に様々な意見などを聞いて楽しかったのと、町の発展のために真剣に話し合うことが出来、貴重な体験となった。